

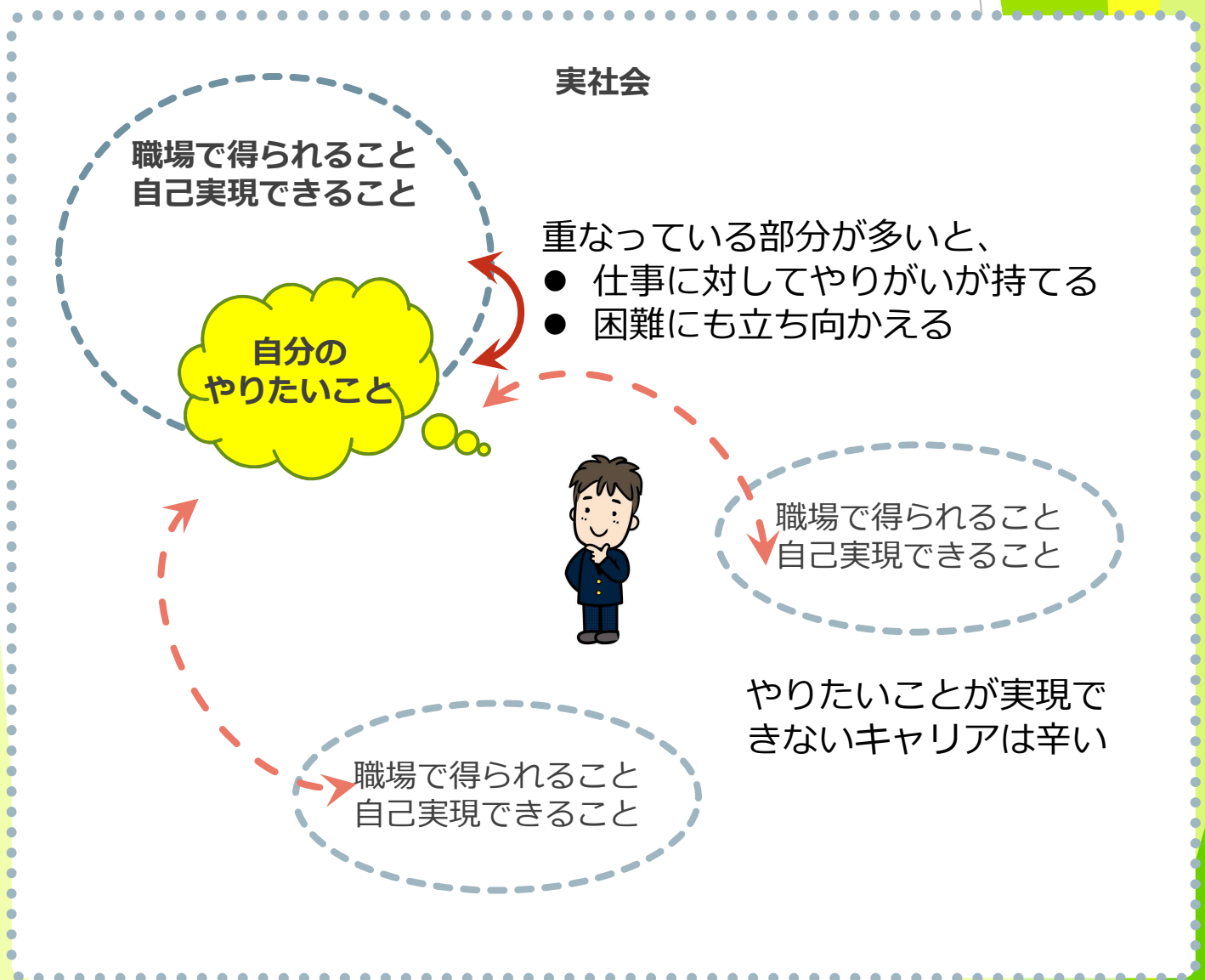
# ① 社会人としての意識付け (自分を知る8つの意識)

---

教師用指導書シラバス

## 「自分を知る」ことの重要性





- ▶ なりたい自分はどのようなものなのかを自分で理解して、キャリアを考えていくことが重要。
- ▶ どのような経験やきっかけで「なりたい自分像」が形成されたのでしょうか。



# 「自分を知る」ための観点

## ジョハリの窓

	自分自身が 知っている自分	自分自身が 気づいていない自分
周囲の人が 知っている自分	<b><u>明るい窓</u></b>	<b><u>盲点の窓</u></b>
周囲の人が 知らない自分	<b><u>隠された窓</u></b>	<b><u>未知の窓</u></b>

明るい窓	自分も、他人も知っている部分 オープンにしている部分	
盲点の窓	他人には見えているけど、自分では気づいていない部分 「あの人、自分では気づいていないけど〇〇だよね」などと言われる部分	
隠された窓	他人に見せていない部分 自分だけが知っていて他人は知らない	
未知の窓	自分も他人も気づいていない部分 無限の可能性を秘めている部分	

明るい窓を広げよう

## 「自分を知る」ためのワークシート

- ▶ 自分を知るための代表的なツールとして以下の3つがある。

### 【自己振り返りシート】

#### 目的

- 自分が知っている自分を知る
  - ✓ 興味を持っていたことや影響を受けたことが見える
  - ✓ 自分の行動パターンを把握する



### 【インタビューシート】

#### 目的

- 他者が知っている自分を知る
- 他人の冷静な目で自分を指摘してもらうことで、「他者から見た自分」を知る



### 【長所短所シート】

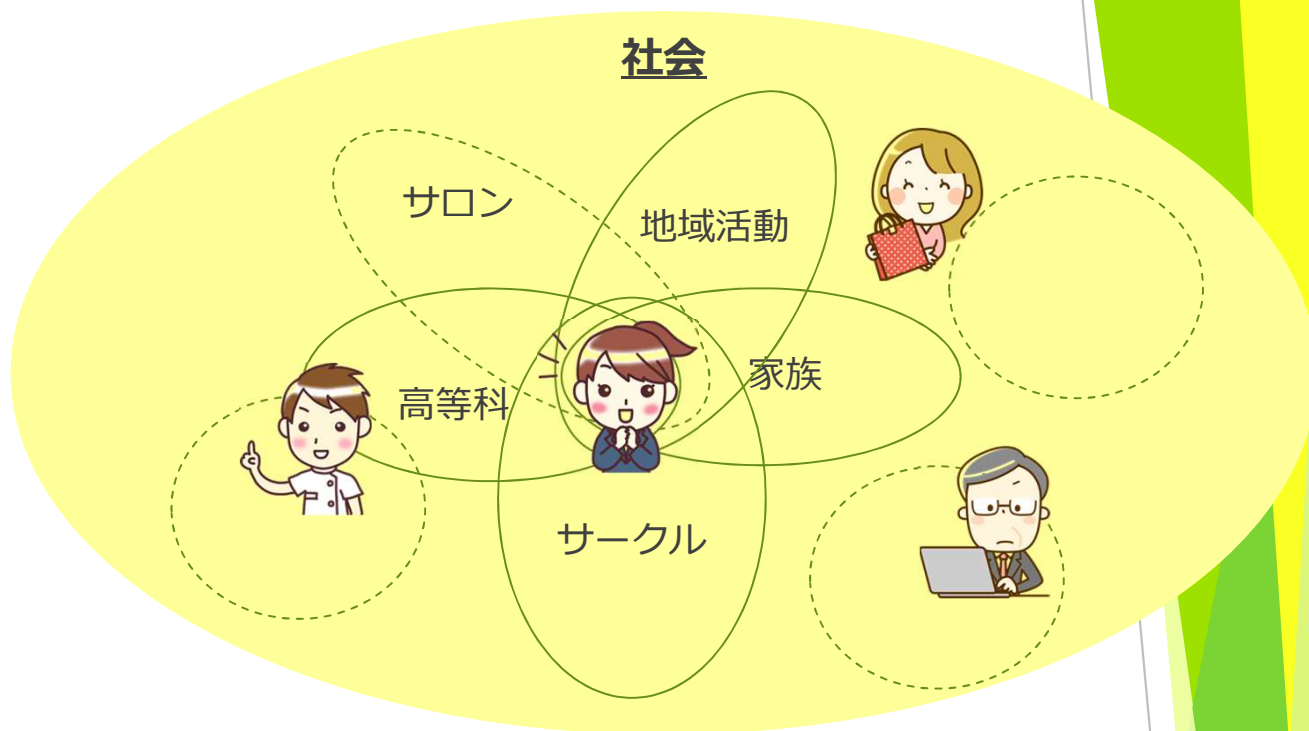
#### 目的

- 自分の長所短所を把握し“自分”を理解する
- 素の自分を踏まえて
  - ・ 伸ばしていくべき部分
  - ・ 改善すべき部分を理解する



## 豊かな社会と限りない可能性の中での“自分”

- ▶ 様々な所属グループや組織が密接に関連し合っているのが社会。
- ▶ 成長する機会はたくさんある。



社会の中での  
自分

**年齢立場生活環境**等が異なった人の集団

様々な価値観を持つ人々の気持ちを理解し、尊重することが必要

サロン

**同じ道（美容師）**を志す人の集団

サロンの看板の元、チームでお客様にサービスを提供し、対価を得る活動に参画

学校

同世代（自分の考えていることと、友達の考えていることが似ている。似た感性の人同士で繋がる）

学ぶことが仕事

異なる立ち位置でも、自分の**役割**を理解し、**行動**し、**責任**を持つこと（＝自律）が求められる

- **人任せにしない**
- **自分たちで考え、行動する**

## 社会の中でチャンスをつかんで成長するには

▶ チャンスを掴むために必要な要素を学びましょう。

### 素直な心

- ◆ 偏見を持たずに物事をありのままに見る「**素直な心**」を持つことが大切
- ◆ **謙虚**な気持ちを持ち、相手の言葉を素直に受け取る
- ◆ 相手に対して心を開くこと。否定的批判的にならない。
- ◆ 素直に聞きとる人には多くの情報が集まる

### 主体的な姿勢

- ◆ 「受け身」の姿勢から「自ら**考え**、**行動**する人」になる
- ◆ 仕事の**目的**を見据えて、“今、自分がすべきこと”を自分で**考**えられること、考えただけでなく**行動**できることが重要

### 変化に気づく観察力

- ◆ 違いがあることを観察できることが“新たな**気づき**”に繋がる
- ◆ 何故、変化があったのかまで理解することで、この先の変化についても感覚を得る

五感を働かせることで外界から得る情報を増やす

音を感じる



**視覚**



目で形色を見る

**聴覚**

**味覚**



味わう

手で触る



**触覚**

**嗅覚**

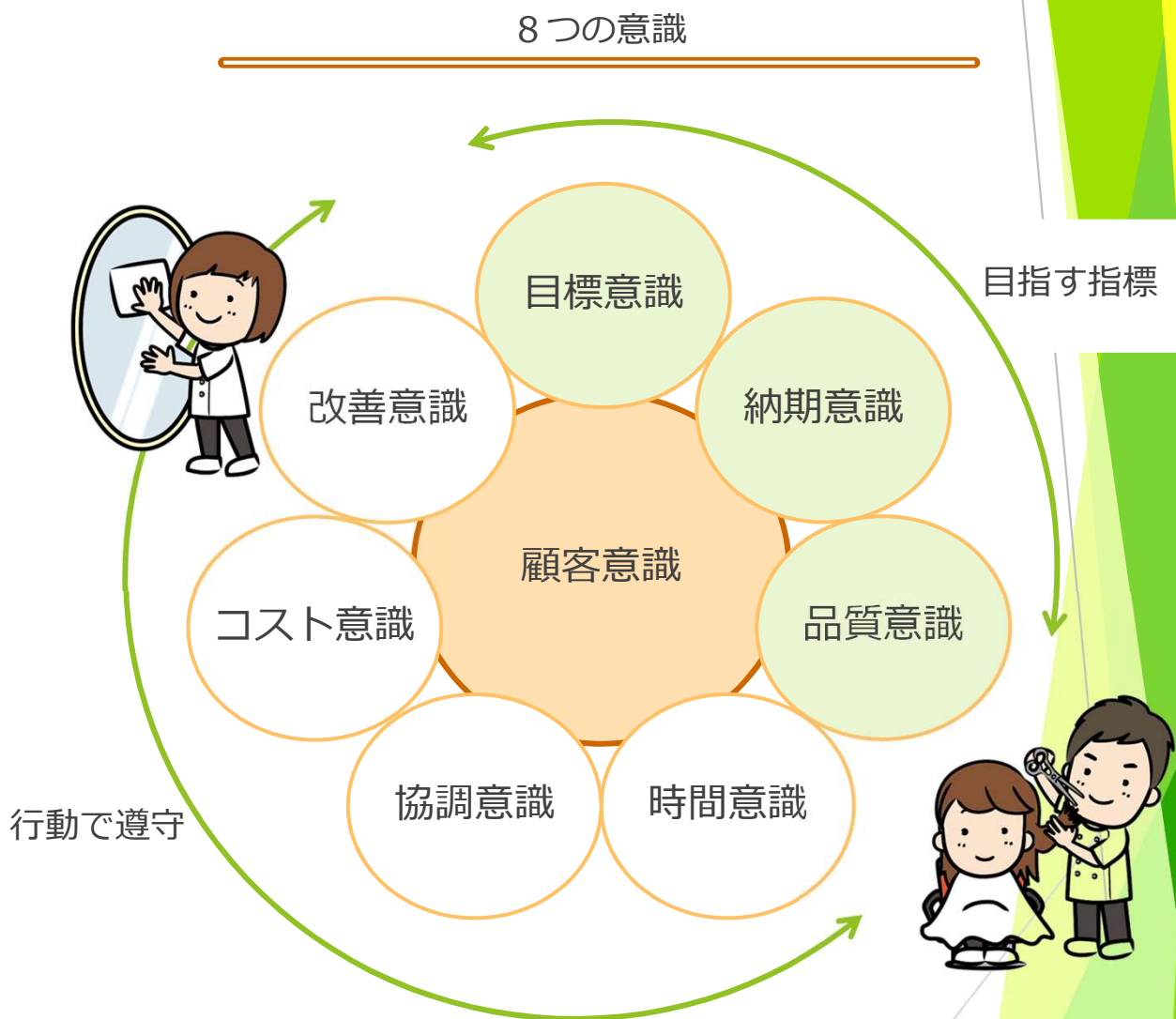


匂い臭いを嗅ぐ

(評判などではなく) 実体験生の情報に基づく  
“自らの**経験**”から社会の変化を捉える

## 仕事の基本姿勢【8つの意識】

- ▶ 仕事では、様々な動作や、技術を覚える必要があります。
- ▶ また社会の変化やお客様のニーズ（要求）の変化と共に、お客様に向けて行うサービスも変化してきます。
- ▶ そのような中で、手順は変わっても、仕事をする基本姿勢としての、変わらない「8つの意識」があります。
- ▶ ここでは「8つの意識」について学び、サロンの仕事の関連性を確認します。



- 最も大切なものの根底にあるものは顧客意識です。
- 仕事の時と場合に応じて、8つの意識の中でも優先するもの、最低限維持するもののバランスが異なります。

## 「8つの意識」の概要

### 根底にあるべき意識

#### 顧客意識

- お客様
- サロン内の仕事を上司から頼まれた場合は、上司も期待に応えるべきお客様の存在：社内顧客意識



### 目指す指標

#### 品質意識

- お客様の要求を満たし、それ以上を提供することが、お客様の満足
- お客様に提供するサービスの質を高めるという意識

#### 目標意識

- 仕事は目標を立てるところから始まる
- チームの目標、個人の目標がある
- 目標には、達成期日達成項目達成水準がある



#### 納期意識

- お客様の要望に合わせ、納期を必達することで、お客様からの信頼を得る（任せられる）
- 仕事は、常に期限の中で、価値を発揮



## 「8つの意識」の概要

### 行動で遵守

#### 時間意識

- 時間を有効に使うことが大切
- 価値を生まない無駄な時間がないか考える

#### 協調意識

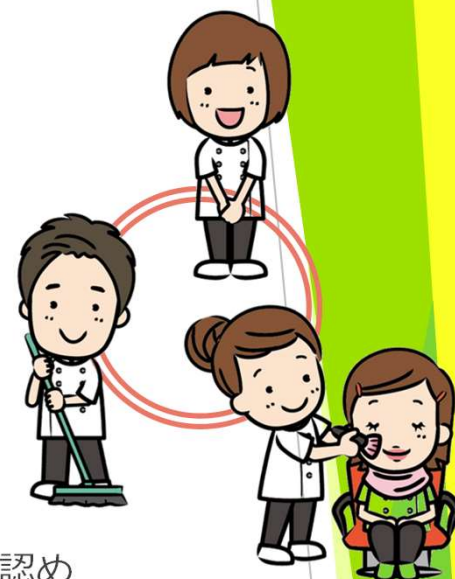
- チームワークの基本
- お互いの役割、立場、考えの違いを理解し、認め合った上で、同意を作ったり、協働したりする

#### 改善意識

- 「より良くなろうとする意識」「今よりももっと効率的で効果的な仕事をしようとする意識」が改善意識

#### コスト意識

- サービス提供には“コスト（＝費用）”が掛かる
- “時間”と“材料”を無駄にしないこと。“丁寧に機器や器具を使う”こと。

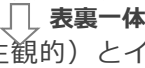


『 社会人としての意識付け 』

指導目標： ①人と人とのかかわり方や社会性を高めるために、自己理解が必要であることを学ぶ  
②社会生活を送る為の基本姿勢を学ぶと共に、一人ひとりが社会の一員であることを理解する

所要時間： 100分

使用教材： テキスト、筆記用具

時間	指導項目	・ 指導重点内容	展開
10分 (10分)	1. 導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>これから社会にでるにあたって、自分はどのような美容師(社会人)になりたいのか</li> <li>思い描く美容師像、夢を実現させる為に、これから身に付けていくことを考える</li> </ul>	講義 質問 (どのような美容師になりたいか)
30分 (40分)	1. 自己理解  2. ジョハリの窓 (1) 明るい窓 (2) 隠された窓 (3) 盲目の窓 (4) 未知の窓  3. 自己分析ツール (1) 自己振り返りシート  (2) インタビューシート  (3) 長所短所シート  (4) その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>思い描く自分になる為には、自分自身を理解することが大切</li> <li>仕事は自分と気の合う人とだけ行うのではない。対人関係を築くためには、自分自身で自分を知ることが大切 (職業意識働く意識付けにつながる)</li> <li>自分を知ることが出来なければ、自分を変えることが出来ない</li> <li>自分がどのような人間(特質を持っているか)を知ることによって、人との関わり方も円滑になる</li> <li>今の自分を知り、伸ばす所を伸ばし、改善する所を改善し、よりよい人間関係を築く</li> <li>自分が気付いていない部分に気付き、また周囲が知らない部分を知ることにより、人間関係の構築を円滑にする。</li> <li>自己分析ツールの特徴を学ぶ</li> <li>自己を振り返ることによって、過去に関心のあったことや興味があったことを振り返る</li> <li>「自分から見た自分」を知る＝自分が知っている自分に気付く</li> <li>行動パターン(白黒はっきり、几帳面、大雑把 等)</li> <li>他人の冷静な目で指摘してもらい「他者から見た自分」を知る</li> <li>自己認知と他者認知の姿は一致しているか  <div style="text-align: center;">  </div> </li> <li>自己振り返りシート(主観的)とインタビューシート(客観的)を踏まえ、長所短所を具体的に把握する</li> <li>「長所と短所」は全く別のものに思うが、元をたどれば同じ特質             良い面に表れれば長所、悪い面に出れば短所         </li> <li>エゴグラムやOKグラムを通して、行動パターンや考え方のパターンを見ることができる。            エゴグラム・・・行動パターン            OKグラム・・・考え方のパターン         </li> </ul>	講義 (Text P.1)  講義 (Text P.2)  講義(Text P.3)
25分 (65分)	1. 社会生活 (1) 社会の中の私	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会では、様々な異なる背景の人々と、様々な関係を持って交流をしていくことを理解する</li> </ul>	講義(Text P.4)

時間	指導項目	・ 指導重点内容	展開
	(2)サロンの中の私 (3)学校の中の私  (4)自立とは  2. チャンスをつかむ (1)必要な要素 ①素直な心  ②主体的な姿勢  ③変化に気づく観察力  (2)五感とは  (3)物事の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりが社会の一員であることを理解する</li> <li>所属グループの特徴は何か、その中で自分の役割は何かを考える</li> <li>自律とは何か、責任とは何かを理解する</li> <li>社会と学校の違いを理解する</li> <li>責任の範囲が広がることを理解する 学生時代自分のことだけ サロン(社会) 自分+サロン</li> <li>一人の行動は、その人の評価だけではなく、サロンスタッフとして評価される</li> <li>素直な心を持つことにより、多くのチャンスや情報が集まることを理解する</li> <li>相手を否定するのではなく、受け入れ、心を開くことが大切</li> <li>指示待ちの人間になるのではなく、自ら考え行動できる人になることを伝える</li> <li>自ら仕事を見つけ、積極的に取り組む姿勢が大切</li> <li>感性(感じる心)を持つ事が大切</li> <li>物事の変化に気付くためには感性を豊かにすることが大切</li> <li>感性を磨くためには五感を働かせることが大切(視覚聴覚触覚臭覚味覚)</li> <li>五感とは何かを学ぶ</li> <li>五感を働かせ、時代や世の中の流れを自分自身で把握する</li> <li>自ら体験し、感じ取ることによって成長につながる</li> <li>人の成功や成長は、失敗から学ぶことを理解させる</li> <li>マイナス思考からは何も生まれない。プラスへの考え方ができるようにする</li> <li>気持ちしだいで、できることとできないことが分かれる</li> <li>知識や情報の引き出しをたくさん持ち、それらを整理し磨くことが大切である</li> <li>マニュアルだけの考え方にならない。社会では臨機応変が大切である。</li> </ul>	講義(Text P.5)       質問： ①四季を感じる事ができるか？ ②五感とは何か？
25分 (90分)	1. 仕事の基本姿勢  (1)顧客意識(満足)	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事に対する基本姿勢は、学校生活に置き換えることができる。</li> <li>以下の9つ意識を意識しながら、日々の学校生活を送ることを伝える</li> <li>常に「お客さま第一」を忘れてはいけない</li> </ul>	講義(Text P.7-8)

時間	指導項目	・ 指導重点内容	展開
	(2)品質意識(信頼) (3)納期意識(信用) (4)目標意識(考え方利益) (5)協調意識(役割分担) (6)コスト意識(経費削減) (7)改善意識(前向き思考) (8)時間意識(優先順位) * 健康意識 2. 重要となる意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様が求める以上のことを提供する</li> <li>自分自身が品質であることを忘れない(物売る仕事ではない)</li> <li>決められた時間の中で仕事ができ、初めて信用が生まれる</li> <li>目標を持つことによって、行動が生まれる。その結果、達成感も生まれ、自身にも砂がかる。</li> <li>達成期日、達成目標、達成水準を明確にする</li> <li>チームワークの基本となることを理解する</li> <li>お互いの役割、立場、考えを認め合うことが大切である</li> <li>無駄遣いをなくすこと、道具を大切に扱うことを理解させる</li> <li>サービスを提供する為にはコスト(=費用)がかかる</li> <li>常に、問題意識を持って取り組むことが大切である</li> <li>時間を有効的に使うことが大切</li> <li>価値を生まない無駄な時間がないか(ex.授業中の私語) 考える</li> <li>優先順位をつけることによって効率が良くなる</li> <li>どんなときでも身体が資本となる</li> <li>自分自身の体調管理を自分でしっかりと整えていくことを理解させる (睡眠時間、食生活、持病との付き合い方 等)</li> <li>1つの仕事の中に1つの意識ではなく、複数の意識が絡みあっていることを理解させる</li> <li>原点はお客様(顧客意識)であることを理解させる  協調コスト改善時間⇒ 守るべき意識  品質納期目標⇒ 指標 </li> </ul>	講義(Text P.6) 顧客 品質納期目標 協調コスト改善時間
10分 (100分)	1. まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会に出ていきなり意識や考え方が変わるものではない</li> <li>学校生活を社会に出る準備期間とし、技術はもとより、働くための心構えを</li> <li>しっかりと身につけていくことを理解させる</li> <li>学んだことは、授業の場だけのことでなく、学校生活の中で日々意識しながら実践していくことを伝える</li> <li>↓</li> <li>日々繰り返す中で、習慣化していく</li> </ul>	